

試験問題(択一式) — $\left(\begin{array}{l} \text{英語} \\ \text{数学} \\ \text{国語} \end{array} \right) \dots 1 \sim 5 \text{ ページ}$
 $\dots 6 \sim 12 \text{ ページ}$
 $\dots 13 \sim 20 \text{ ページ}$

| 受 験 地 | 受 験 番 号 |
|-------|---------|
| | |

受 験 心 得

- この試験問題は、指示があるまで開かないこと。
- 試験問題および解答用紙には、受験地、受験番号を忘れずに記入すること。
- 問題数は、英語、数学それぞれ15題、国語は10題である。
- 試験時間は、英語、数学、国語の3科目を合わせて、10時から11時30分までの90分間である。
- 携帯電話等は、電源を切り、使用できない状態にすること。

- 解答方法は次のとおりである。

各問題にはいくつかの答が示してある。そのうち、問題の解答として正しいと思うものを一つ選び、次の例にならって記入すること。

- (3)が正しい答と思うとき、解答用紙のその番号のところに、下のようにはっきりと×印を記入すること。

(1) (2) (3) (4) (5)

- (3)に×印をつけたあと、答を(5)に修正する場合には、下のように(3)をぬりつぶし、(5)にはっきりと×印をつけ直すこと。

(1) (2) (3) (4) (5)

- ぬりつぶした訂正箇所(3)が正しい答と思い直したときは、(5)をぬりつぶし、正しいと思う番号(3)の●の上にはっきりと大きな×印をつけ直すこと。

(1) (2) (3) (4) (5)

- 解答に×印をつけないものや、二つ以上つけたものは、誤りと同じに取り扱う。
- 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。用便その他やむを得ない事情があるときは、黙って手をあげて試験係官に用件を話すこと。

試験問題(択一式) — 数 学

[1] 2人で対戦して勝敗を決める試合がある。この試合では、毎回勝敗が決まり、引き分けはないものとする。ここで、A, B, Cの3人について、AがBに勝つ確率はBがAに勝つ確率の $\frac{1}{3}$ 倍、AがCに勝つ確率はCがAに勝つ確率の $\frac{1}{3}$ 倍、BがCに勝つ確率とCがBに勝つ確率は等しいものとする。このとき、以下の問に答えよ。

1 A, Bの2人がこの試合を繰り返し行う。どちらかが先に4勝すれば繰り返しが終わるとしたとき、6試合以内に終わる確率はいくらか。

(1) $\frac{887}{1024}$ (2) $\frac{889}{1024}$ (3) $\frac{891}{1024}$ (4) $\frac{893}{1024}$

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

2 A, B, Cの3人でトーナメント形式の大会を行う。まず、BとCが試合を繰り返し、先に2勝した方が1回戦の勝者となる。次に、1回戦の勝者とAが試合を繰り返し、先に3勝した方がトーナメントの勝者となる。Aがトーナメントの勝者となる確率はいくらか。

(1) $\frac{33}{512}$ (2) $\frac{43}{512}$ (3) $\frac{53}{512}$ (4) $\frac{63}{512}$

(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

[2] $AB = \sqrt{2}$, $AD = 1 + \sqrt{3}$, $CD = 2$, $\angle BCD = 105^\circ$ の円に内接する四角形 ABCD がある。このとき、以下の間に答えよ。

3 BD はいくらか。

- (1) 1 (2) $\sqrt{3}$ (3) $1 + \sqrt{3}$ (4) $2\sqrt{3}$
(5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

4 AC はいくらか。

- (1) $\sqrt{3}$ (2) 2 (3) $\sqrt{5}$ (4) $\sqrt{6}$
(5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

[3] 自然数 l, m, n について、以下の 2 式がある。

(i) $3l + 5m = 170$

(ii) $23l - 11n = 1$

このとき、以下の問に答えよ。

5 (i)式を満たすすべての l を大きい順に並べたとき、中央にくる値はいくらか。

(1) 20 (2) 25 (3) 30 (4) 35

(5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

6 (i)式と(ii)式を同時に満たす l のうち、最小のものはいくらか。

(1) 30 (2) 35 (3) 40 (4) 45

(5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

[4] 方程式 $10x^2 - (6+5\sqrt{3})x + 3\sqrt{3} = 0$ の異なる 2 解が $\sin(\theta-k)$ と $\sin(\theta+k)$, 方程式 $10x^2 - 13x + a = 0$ の異なる 2 解が $\cos(\theta-k)$ と $\cos(\theta+k)$ と表すことができるものとする。ただし, a, k, θ は定数であり, $0 \leq \theta-k < \theta+k \leq \frac{\pi}{2}$ とする。このとき, 以下の問に答えよ。

7 a はいくらか。

- (1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4
(5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

8 $\cos^2 k$ はいくらか。

- (1) $\frac{8+3\sqrt{3}}{20}$ (2) $\frac{10+3\sqrt{3}}{20}$ (3) $\frac{12+3\sqrt{3}}{20}$ (4) $\frac{14+3\sqrt{3}}{20}$
(5) 上の 4 つの答はどれも正しくない。

[5] 実数 x, y について, $x \geq 4, y \geq 8, x^4 2^y = 16^6$ が成り立つとき, y が取り得る範囲は $8 \leq y \leq \alpha$, $\log_2 x$ が取り得る範囲は $2 \leq \log_2 x \leq \beta$, $(y+6)(\log_2 x)^2 - 72 \log_2 x$ の最大値は γ , 最小値は δ である。このとき, 以下の問に答えよ。

9 $\alpha + \beta$ はいくらか。

- (1) 20 (2) 21 (3) 22 (4) 23
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

10 γ はいくらか。

- (1) -52 (2) -54 (3) -56 (4) -58
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

11 δ はいくらか。

- (1) -64 (2) -60 (3) -56 (4) -52
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

[6] 以下の問に答えよ。ただし、 i は虚数単位とする。

[12] 複素数平面上で複素数 $2+i$ を原点を中心に $-\theta_0$ ($0 \leq \theta_0 \leq \frac{\pi}{2}$) だけ回転した点を $a+bi$ とする。 $a = \frac{2+2\sqrt{2}}{3}$, $b = \frac{1-4\sqrt{2}}{3}$ のとき、 $\tan \theta_0$ はいくらか。

- (1) $\sqrt{2}$ (2) $2\sqrt{2}$ (3) $3\sqrt{2}$ (4) $4\sqrt{2}$
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

[13] 方程式 $\frac{x^2}{6} + \frac{y^2}{2} = 1$ で表される座標平面上の楕円 C を、原点を中心に $-\theta_0$ だけ回転した曲線の方程式が $\alpha x^2 + \beta y^2 + \gamma xy = 1$ であるとする。ここで、 θ_0 は [12] で求めたものである。このとき、 γ はいくらか。

- (1) $\frac{\sqrt{2}}{27}$ (2) $\frac{2\sqrt{2}}{27}$ (3) $\frac{4\sqrt{2}}{27}$ (4) $\frac{8\sqrt{2}}{27}$
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

[7] 以下の極限を求めよ。ただし, x は実数, $[x]$ は x を超えない最大の整数である。

14 $\lim_{x \rightarrow -\infty} (\sqrt{2}x + \sqrt{2x^2 - 8x + 7})$

- (1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

15 $\lim_{x \rightarrow \infty} \left(x - \sqrt{x^2 - \left[\frac{x}{2} \right]} \right)$

- (1) $\frac{1}{8}$ (2) $\frac{1}{4}$ (3) $\frac{1}{2}$ (4) 2
(5) 上の4つの答はどれも正しくない。

